

ABUロボコン2009東京大会

～日本代表の豊橋技術科学大学はベスト4・アイデア賞、金沢工業大学はベスト8～

ABU（アジア・太平洋放送連合）に加盟する国と地域から選抜された、大学・工科大学の学生による手作りのロボットのアイデアと技術を競う「ABUアジア・太平洋ロボットコンテスト」が、8月22日（土）駒沢オリンピック公園総合運動場の体育館で行なわれました。この大会は、2002年に第1回大会が東京で開かれ、今年で8回目を迎えました。今回は、日本を含む19の国と地域から選抜された20チームが、ロボットの性能、アイデア、そしてチームワークを駆使してチャンピオンの座を目指しました。会場には応援団の学生ら、およそ2500人の観客が訪れ、熱気あふれる試合に大きな声援を送りました。



今年の競技名は、「旅は道づれ 勝利の太鼓を打て」。日本の伝統的な乗り物「かご」による旅をイメージしたものです。競技では、「自動ロボット」と「手動ロボット」が協力して「かご」をかつぎ、そこに「旅人ロボット」を乗せて旅をします。道中待ち受ける「峠」や「林」をイメージした課題を、「かご」や「旅人ロボット」を落とさないように通過しなければなりません。旅の終わりに、「旅人ロボット」は「かご」から降り、「勝利の太鼓」を打ち鳴らします。相手チームに先んじて3つの太鼓全てを打ち鳴らせばゴールとなります。

20チームの頂点に立ったのは、中国代表のハルビン工業大学。ABUロボコンで、中国代表が優勝したのは3回目。同じ国または地域が3年連続で優勝するのは、今回が初めてのことでした。日本代表の豊橋技術科学大学と金沢工業大学は、ともに決勝トーナメントに進出しました。金沢工業大学は準々決勝で敗れベスト8でした。豊橋技術科学大学は、準決勝で敗れたもののアイデア賞を受賞しました。

NHKでは、ABUロボコン2009東京大会の様様を、下記の日程で放送する予定です。

<放送予定> 「ABUロボコン2009 東京大会」

出演：稲垣吾郎 天野ひろゆき 里田まい 徳光和夫 山田五郎 ほか
アジア、太平洋の各地から、国の将来を担う若きエンジニアが東京に集まった。目指すはロボットNo.1！
涙あり、笑いあり、腕と頭脳に覚えあり。ツワモノ学生たちが一つの目的にむけて夢中になった一夏の物語。

- 9月21日（月・祝）総合テレビ 午後7時30分～8時43分
- 10月11日（日）BS2 午後4時～5時30分 ※全試合版

ABUロボコンは、NHKが提唱して2002年に始まったABU主催の大会で、アジア・太平洋地域の若いエンジニアを育成し、当地域の発展に貢献すると同時に、共同制作における広範な人材と情報交流を通じて、アジアの放送文化の向上を推進することが目的です。

来年の大会は、エジプト・カイロで開催されます。